

なかつか 亮



2013年3月3日(日)

NO386

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

品川区議会 予算議会が開会 最重点課題に防災対策掲げるが 内容は大型開発、道路整備が中心

位置図



完成イメージ



安心・安全のまちづくりと、この事業だけで年間約5億円の予算計上。

西品川1丁目地区再開発 平成29年完成予定

2月20日から約一ヶ月の品川区議会「予算議会」が始まりました。

冒頭、濱野品川区長より新年度の施政方針が示され、各党派による代表・一般質問へ。共産党は飯沼雅子区議となかつか亮区議が本会議質問を行いました。

前年比

5億5千万円UP

新年度予算は13億3千万円で昨年度より5億5千万円増。医療や介護など特別会計含むと昨年度22億4千万円増です。

予算の組立は住民税を始め国や都の各種補助金、さらに積立基金(区の貯金)の活用が原資。今年度は積立基金より73億円取り崩すという形で、23億8千万円を積み増し基金残高は608億円の見込みとなりました。

こうした「健全財政」を何に充てるのか?これを質疑し、決定するのが予算議会です。

品川区長は今年度予算の特徴を「防災対策を最重点課題」と説明しました。

しかし内容を見ると、防災の名で進む駅前再開発事業や29号線など道路建設に100億円に迫る予算をつけながら、住宅耐震化に向けた区民助成は前年同額。防災と言うが看板に偽り“あります”。



東京都の資料より抜粋 29号線を通る西大井5丁目付近



29号線道路

品川区長「ぜひとも進めたい」

施政方針 区長

施政方針で濱野区長は29号線について「震災時、市街地大火からの延焼拡大防止などのため、ぜひとも進めていかなければならない事業」と説明。都との連携を強調しました。

街を壊す

道路建設は中止を

共産党は「街並みと商店街を壊すと、強い反対の声があがっている。さらに延焼遮断帯が完成しないことが墨田区の検討でも明らかにになった。防災を口実に進める道路計画は中止を」と主張。区は「被害を軽減する効果がある」と反論しました

が、根拠を示すことはできませんでした。

29号線中止署名

建設委員会では29号線計画の廃止や説明を求める署名について2回目の請願審査が行なわれました。傍聴席を大きく上回る傍聴者が駆けつけ、審査を見守るなか、結果、引き続きの継続審査となりました。29号線を巡る請願審査について品川区議会では、今までに3回も全会一致で計画廃止を決定。今回の請願署名も継続審査中です。つまり議会の結論は「廃止」という事。この状態で都と区が29号線の用地取得に向けた測

量を進めるとは、区民意見と区議会を軽視するものと言わなければなりません。計画中止を求める区民の意見をしっかりと示すためにも、引き続き追加署名を呼びかけます。

伊藤学園

プール開放存続を

賛成は共産党のみ

文教委員会では伊藤学園のプール一般開放存続を求める請願及び陳情が提出。質疑の結果、賛成は共産党のみ。傍聴者からは「否決とは納得できない」と怒りの声があがりました。予算議会が始まりました。住民本位の区政を！なかつか亮

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

3月29日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**